

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東北)	◎	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・2～3か月前までは物価高の影響で客が余りにも少ない状況だったが、物価高に慣れたのか諦めたのか分からないが、客が少しずつ戻っている。
	○	一般小売店〔医薬品〕 (経営者)	来客数の動き	・人が動き始めており、来客数が前年同月比120%になっている。観光客の来店もかなり多くなっている。
	○	一般小売店〔医薬品〕 (経営者)	単価の動き	・来客数は減っているが、客単価が前年よりも2～3%良くなっている。
	○	一般小売店〔寝具〕 (経営者)	販売量の動き	・インテリア関係ではカーテンやじゅうたんなどの買換え需要が多く、寝具関係ではこたつ布団の注文が多くなっている。寒さに備え準備をする様子が見られる。
	○	一般小売店〔雑貨〕 (経営者)	来客数の動き	・物価上昇に伴い販売促進費も上昇していることから、チラシをまく頻度を減らした。しかし、売上は多少減ったものの来客数は前年と変わらない。
	○	スーパー（店長）	販売量の動き	・商品価格の上昇で客単価が上がっている。来客数と売上も好調を維持している。
	○	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・寒さが増してきた影響か、ようやく買上客数が前年並みに戻っている。
	○	家電量販店（従業員）	単価の動き	・客がインフレに慣れてきたため、景気不安が薄らいでいる。新築需要や観光需要などの高まりが景気を押し上げている。
	○	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・水害による特需はなくなったものの、個人客の販売量が少し戻っている。
	○	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・安定的に配車量が増えており、収益が上向いている。
	○	乗用車販売店 (店長)	単価の動き	・新車の納車に伴って中古車の在庫が順調に増加しているため、販売台数も増加傾向にある。特に高額車、輸入車の中古取引が好調で、店頭に並ぶとすぐ売れる状況である。
	○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・10月後半から土日祝日を中心に混み合う日が増えている。また、レストランウェディングやパーティーなどの申込みも多少増えており、やや好転している。
	○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・11月は3人から5人の少人数の集まりがかなり多い。また、新型コロナウイルス感染症発生前のような大人数ではないものの、宴会もかなり多くなっている。
	○	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・宴席の人数が増えている。収容人数にほぼ近い人数が会場に入るなどの動きがある。立食需要も増えている。
	○	タクシー運転手	単価の動き	・観光需要の増加に加え、年末準備や週末の買い出しが増えており、長距離客が増加している。それにより客単価が増えている。
	○	通信会社（経営者）	お客様の様子	・雪が降る前に新築住宅を完成させるため、この時期は新築住宅での放送サービスの申込みが増加傾向にある。また、通信サービスも集合住宅の一括導入を中心に加入数を伸ばしている。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・国内旅行者の回復は微々たるものだが、インバウンドの回復が目覚ましい。来客数が大変多く、景気は良くなっている。
	○	その他サービス 〔自動車整備業〕 (経営者)	販売量の動き	・好調を維持している。売上は5年前を超えて過去最高まで回復している。
	○	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・建設工場の景気が良い状態が続いており工事価格が高騰しているため、客からは景気が後退してから建設をしたいという話が数件出ている。
□	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響はなくなっているものの、原材料等の値上がりにより物価高の傾向にあり、景気は横ばいの状態にある。	
□	商店街（代表者）	来客数の動き	・年末へ向かっているのに商戦が盛り上がらない。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店 [酒] (経営者)	お客様の様子	・客先からは、来客数はかなり戻りつつあるが、値上げの影響からか客単価がなかなか伸びないという話を聞く。客先の状況を見ると、ターゲットが県外旅行者やインバウンドの店と、地元客の店とで売上格差が広がっている。全体的には横ばいの状態である。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (経営者)	販売量の動き	・ここに来て気温も下がり、季節商材のマフラーなど防寒雑貨が好調である。食料品については価格上昇に対して消費者は厳しい目で見ている。特に年末年始のおせちなどは購入を迷っている客も多く、買い控えがみられる。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (従業員)	販売量の動き	・前年比の売上が3か月前と同様の推移となっている。
<input type="checkbox"/>	スーパー (経営者)	単価の動き	・1品単価は前年比107%となっている。価格転嫁が続いているため高い水準で推移している。来客数はやや前年を割っており、買上点数も前年比でみると良くない。低価格品の買上点数は上がっているが、売上は前年と変わらず、全体的にはほぼ変わっていない。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	単価の動き	・1品単価の伸びは変わっていないが、買上点数が回復している。割引、値引き品の需要が高いため利益率は低い。客単価は上がっている。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	来客数の動き	・来客数が減っている。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	来客数の動き	・来客数は若干伸びている。売上は前年を上回っているものの、値上げの影響によるものであり、景気は良くも悪くもない。
<input type="checkbox"/>	スーパー (企画担当)	販売量の動き	・販売量は少々減っているが、値上げ等により売上は前年並みに推移している。
<input type="checkbox"/>	スーパー (企画担当)	お客様の様子	・商品の値上がりにより自己防衛を意識する客が増えているため、特売構成比が高い傾向が続いている。また、精肉であればひき肉や小間切れなどベーシックな商品の購入が多くなっており、都市部よりも郡部でその傾向がみられる。
<input type="checkbox"/>	スーパー (営業担当)	来客数の動き	・来客数は前年比97.3%と前年割れが続いている。買上率も97.5%と前年を割っている。
<input type="checkbox"/>	スーパー (商品担当)	単価の動き	・物価の上昇が続き、平均単価の上昇で売上増加の傾向にある。しかし、販売数量は前年を下回る状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ (経営者)	来客数の動き	・売上は前年比10%前後の伸びが続いているが、来客数は1%と伸びが大分鈍くなっている。また、買上点数も2ポイントマイナスになっている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ (経営者)	来客数の動き	・来客数微減により、売上は前年割れの状況である。客単価はほぼ横ばいで推移している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ (経営者)	来客数の動き	・人の動きは良くなっているが、来客数が増えない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ (エリア担当)	来客数の動き	・気温や天候要因による来客数の増減はあるものの、さほど変わっていない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ (店長)	お客様の様子	・景気が悪い状況は3か月前と変わらない。コロナ禍で悪くなったまま元に戻らず、その状況に慣れてしまっているのではないかと。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・お歳暮の受注が順調である。法人関係では防寒衣料の売上が順調だが、仕入価格の上昇で利益の減少が顕著である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・寒くなってきたため常連客は冬物の購入に気持ちが向いているが、新規客が増えない。価格帯が高めの商品を扱っているため、買物ができる層とできない層がはっきりしている。景気は相変わらず良くない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店 (店長)	お客様の様子	・ブラックフライデーなどセールを仕掛けないと購入につながらない客層が増えている。ここに来て、一層お買い得に買物をしたいという客が増えている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店 (総務担当)	来客数の動き	・来客数は前年比90%、売上は同95%である。客単価は前年比105%だが買上点数が伸びているわけではなく、商品の単価が上がっているためである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新車の受注販売は伸びずにいたが、前年からの受注残の納期が少しずつ早まり、売上は確保できている。しかし、景気は変わっていない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・受注量は伸びていない。

□	住関連専門店 (インテリア コーディネー ター)	販売量の動き	・客は興味を示すものの販売にはつながらない。同じ物品なら量販店で購入するなど、インテリアに掛ける金をかなり切り詰めている。
□	その他専門店 [靴] (従業 員)	販売量の動き	・物価高の影響で客の財布のひもが固い。複数の店舗を見てから購入する人が増えている。
□	その他専門店 [ガソリンスタ ンド] (営業担 当)	販売量の動き	・燃料油の販売数量は増加傾向にあるが、販売価格の高止まりが続いているため、洗車やタイヤといった他の商材の販売につながっていない。
□	その他小売 [ショッピング センター] (統 括)	来客数の動き	・今月の買上客数は2018年比95%であり、3か月前の同93%とほぼ変わらない状況である。主にファッション雑貨の店舗では同80%台で不振が続いている。通常であれば気候が変われば消費は伸びるが、客は吟味して購入する傾向が強くなっている。
□	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症が収まり、来客数は好調である。
□	観光型旅館(経 営者)	来客数の動き	・気温が高かったせいか紅葉が例年より遅れたため、売上が少し増加している。
□	観光型旅館(ス タッフ)	単価の動き	・客単価は3か月前よりも下がっている。
□	旅行代理店(従 業員)	販売量の動き	・国内旅行、海外旅行の個人、団体共に3か月前と比較しても大幅な伸びはなく、ほぼ変わらない状況が続いている。
□	旅行代理店(従 業員)	販売量の動き	・東北の宿泊販売は下期のボリュームが小さいことから下降傾向であるものの、2019年の販売量は上回って推移している。
□	旅行代理店(従 業員)	販売量の動き	・3か月前と変わらない。しかし、この先については旅行業は閑散期に入ることに加え、海外は円安や燃油サーチャージの影響により販売が鈍くなる可能性が高いという懸念がある。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・風雨の日が多い季節になったこともあり、通院や買物に行くための利用客が増えている。また、コンサート会場とホテル間の移動に利用する客もみられる。人が外に出ている。
□	通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・前月同様景況感に変化はない。消費者は必要な商品のみ購入している。
□	通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症に移行した後に売上が伸びている業種があるものの、全般的にみると景気は変わっていない。
□	通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・客の設備投資意欲に変化はみられない。
□	通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・物価、燃料費等が高止まりしており、現状維持が精一杯とみている。
□	通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・景気は低迷したまま変わっていない。物価高が続いているため、少しずつ悪くなる懸念がある。
□	遊園地(経営 者)	来客数の動き	・天候が比較的穏やかだったため来客数は順調に推移し、ほぼ前年並みとなっている。
□	美容室(経営 者)	来客数の動き	・再来店率は前年比96%から97%で推移している。
□	住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・戸建て住宅は企画プランや建売の受注を確保できているが客単価が低い。個人投資の盛り上がりにより賃貸マンションの受注は悪くない。
□	その他住宅[リ フォーム] (従 業員)	販売量の動き	・住宅設備機器は、気温の低下に伴い暖房設備の温水ルームヒーター交換、石油暖房器具の買換えが増えている。リフォームは、助成制度活用期間が終了したことで工事が急減している。
□	その他住宅[住 宅展示場運営会 社] (従業員)	来客数の動き	・来場組数に変化はない。
▲	一般小売店[医 薬品] (経営 者)	販売量の動き	・売上は、月の前半はやや良かったが後半は悪い日が続いている。前年、例年のいずれと比べても悪くなっている。
▲	百貨店(企画担 当)	来客数の動き	・行動制限緩和以降、上昇トレンドが継続していた来客数が、今期初めて前年を割り込んでいる。

	▲	百貨店（催事担当）	単価の動き	・ 婦人ファッション関連商品や化粧品などは堅調に動いているものの、食品や日用品を中心に買上単価、買上点数が減少している。食品や光熱費等、物価高騰の影響により生活防衛意識が高まっているとみている。
	▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・ 客の来店頻度、客単価共に下がっている。
	▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・ 気温の低下に伴い買上点数が減少している。前年比でみても減少しており、家計の引締めが始まっていることが強くうかがえる。
	▲	コンビニ（店長）	お客様の様子	・ 使える金がないためか、最近イライラしている客が多い。金を持っている客も見受けられ、格差が拡大している感じがある。単価は少し下がり気味だが、来客数はそれほど下がっていない。
	▲	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・ 気温が高めのため防寒衣料が出遅れている。また、10月はイベントが多く、それに伴ってニーズがあったが、11月はイベントが少なく、少し厳しい状況にある。
	▲	衣料品専門店（店長）	単価の動き	・ ビジネス衣料に関しても、購入決定理由が品質よりも価格優先になっている。
	▲	家電量販店（従業員）	来客数の動き	・ 燃料費高騰の影響で省エネ家電への買換えが進み、商品単価は上昇傾向にあるが、来客数は全体的に減少傾向にある。暖房商品が必要な時期に入っても来客数が増えず、販売量も増えていない。景気はやや悪くなっている。
	▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・ 買換え目的の来客数が減っており、販売数が減少している。
	▲	自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・ 補修に掛かる費用を抑えているため、動きが悪い。
	▲	その他専門店 [酒]（経営者）	お客様の様子	・ 9月、10月も良くはなかったが、飲食店、店頭販売のいずれも悪くなっている。飲食の機会は増えているが、店は人手不足で対応できず、客も出費を抑える様子がみられる。
	▲	その他専門店 [白衣・ユニフォーム]（経営者）	販売量の動き	・ 気温も下がってきたが、期待していた防寒着の動きはまだない。サービス業、観光業、飲食店等、一般的に制服に動きが出てきているが、まだ様子見のところや余裕がなくて制服まで手が回らないところもある。
	▲	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・ 物価高の影響で客の財布のひもが固くなっている。また、人手不足の影響で客室の稼働制限を掛けているため、来客数は減っている。
	▲	競艇場（職員）	単価の動き	・ 来場者は常連客が大半を占めており、客単価は下がっている。
	×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・ 物価高により客の財布のひもは非常に固くなっている。夕方の値引き商品を目指してくる客が増加している。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・ 来客数は昼と夜の時間帯はそれなりだが、朝が大分悪い。これまで朝の時間帯に来ていた建設関係の人たちの動きが少ないことが売上の低下につながっているとみている。
	×	コンビニ（経営者）	それ以外	・ 光熱費が下がらないまま最低賃金上がり、経営が非常に厳しい。さらに、今月から除雪代の支払が始まっているため、赤字の店舗が増えている。
	×	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・ 法人、組合などの会合や家族の祝い事での予約や来店が軒並み減っている。客からは生活費が上がり過ぎているという話を聞く。
企業 動向 関連 (東北)	◎	—	—	—
	○	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・ 前年の全国旅行支援による特需をカバーできるか懸念していたが、インバウンドや団体客等の集客で飲食店は好調を維持している。出歩いて買物するようになったため、売上の流れは通販から実店舗に変わっている。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・ 以前より引き合いがあった設備の売上増加に加え、急ぎ案件の受注もあり、当月は動きが活発になっている。
	○	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・ 受注は堅調に推移している。工期内の完工を目指し工事は忙しい時期を迎えている。

○	その他非製造業 [飲食料品卸売業] (経理担当)	受注量や販売量の動き	・前月に引き続きカップ麺の動きが良い。気温も下がり季節商材の動きも良くなっている。
□	農林水産業(従業者)	受注量や販売量の動き	・りんごの販売が始まったが、おおむね想定の範囲内の受注量である。
□	食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・販売量の前年割れが続いている。景気がやや悪い状況に変わりはない。
□	出版・印刷・同関連産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・選挙関連の仕事等は増えているが、広告収入は厳しい状況である。
□	出版・印刷・同関連産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・ペーパーレス化の進展による受注量の減少を、価格転嫁など販売価格を上げることで補っており、売上は横ばいを維持している。
□	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・商談件数は徐々に増えているが、なかなか決定には至らず、受注量は3か月前と変わっていない。
□	電気機械器具製造業(企画担当)	取引先の様子	・半導体関連顧客において、設備投資計画の後ろ倒しが継続しており、回復の見込みがない。
□	建設業(従業者)	受注量や販売量の動き	・資材高騰が続いているため、受注に結び付かないことが多い。
□	輸送業(経営者)	受注量や販売量の動き	・今年の1月から10月まで毎月の売上が前年を下回る状況が続いている。物の動きが非常に悪くなっている。
□	通信業(営業担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの影響で客の反応は消極的になっている。
□	広告業協会(役員)	受注量や販売量の動き	・広告業界の業績は3か月前と変わらず、前年比ややマイナスで推移している。イベント関連、娯楽施設の広告出稿は好調だが、各種値上げやエネルギー価格の高騰が販売促進費を押し下げる要因となっている。
□	公認会計士	取引先の様子	・顧客の月次、決算状況から判断している。小売、サービス業は改善傾向が続いており、売上、利益共に増加傾向にある。製造業は部品不足等の影響を受けているIC関連業種の売上が上がらない。建設関係は一定の業績を確保している顧客が多く、全体としてはやや良い状況である。
□	コピーサービス業(従業者)	受注量や販売量の動き	・景気に変化はないが、インボイス制度や電子帳簿保存法対策の商談が増えている。
□	その他企業[企画業] (経営者)	それ以外	・当地の宿泊施設ではコロナ禍明けの忘年会需要に期待していたが、週末や休日の予約数は平年並みであるものの、平日は足踏みがみられるとのことである。
▲	農林水産業(従業者)	受注価格や販売価格の動き	・米の販売代金が農業団体から入金されたが、猛暑の影響により2等米比率が高く、売上が減少している。
▲	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・お歳暮商戦がスタートしたが、余り動きが良くない。物価上昇の影響による買い控えの傾向が強くなっているのではないかと。
▲	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・顧客によって景気に差はあるが、受注量が伸びない。
▲	建設業(従業者)	受注量や販売量の動き	・目立った大きな受注が獲得できていない。
▲	金融業(広報担当)	取引先の様子	・地場の一般消費動向は夏祭り以降の勢いはないものの堅調である。ホタテやナマコの中国向け輸出の停止、サバの記録的不良等水産関連が1次・2次・3次産業共に影響を受けている。企業の設備投資も資材や原料の価格高騰の推移を注視しており、まだ様子見の状況である。
▲	経営コンサルタント	それ以外	・原価高の状況が変わらないなか、大手小売業では食品価格の値下げが始まっており、中小小売業が対抗できず、格差が広がりつつある。しかし、大手でも値下げ分をカバーできるほど来客数が増えるわけではなく、手探りの状況が続いている。
×	窯業・土石製品製造業(職員)	受注量や販売量の動き	・官需、民需共に発注工事が低調で、需要は落ち込んでいる。
雇用	◎	—	—

関連 (東北)	○	人材派遣会社 (経営者)	周辺企業の様子	・11月は研修の実施や問合せが非常に多くなっている。景気が悪いと真っ先に削減される教育研修費に金を掛けているということは、ビジネスが順調とみている。サービス業、飲食業、総合卸売業、農機具のメーカー・販売企業などからの問合せが増えている。
	○	アウトソーシング企業 (経営者)	それ以外	・来年度に向けて値上げ交渉ができています。
	○	新聞社「求人広告」 (経営者)	周辺企業の様子	・インバウンド需要が増えている。
	○	職業安定所(職員)	求人数の動き	・10月の新規求人数は前年同月比で28.9%増加しており、3か月前比でも30.6%増加している。飲食業では客足の戻りが本格化し、広範囲に展開する飲食店や小規模店舗の募集が目立っている。介護福祉の現場からは、団塊世代が75歳以上となる「2025年問題」に対応するため募集するという話を聞く。また、派遣業に伸びがみられる。派遣先の多くは製造業であり、直接雇用を控えて派遣労働者を受け入れながら様子を見ていることがうかがえる。
	□	新聞社「求人広告」 (経営者)	それ以外	・求人広告に限らず、ほとんどの広告需要に変化がなく、マスコミ業界全体が停滞している。従来であれば経済が活発化すればそれなりに広告需要が増えるが、現時点では波及していない。
	□	新聞社「求人広告」 (担当者)	周辺企業の様子	・広告申込みの動きが鈍く、売上も前年割れとなっている。
	□	職業安定所(職員)	求人数の動き	・人手不足を背景に求人数が多くなっており、雇用条件の改善傾向も続いている。
	□	職業安定所(職員)	求人数の動き	・原材料価格やエネルギー価格の高騰が企業収益を圧迫していることに加え、人件費も上昇していることから、求人数が伸びていない。
	□	職業安定所(職員)	求人数の動き	・求人数の減少が続いている。
	□	民間職業紹介機関 (職員)	雇用形態の様子	・求人数が1～2か月前とさほど変わっていない。
	□	学校「専門学校」	採用者数の動き	・当校への求人数や求人内容に変化はない。
	▲	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・大手企業を中心に採用を抑える動きが見え始めているが、まだ市況が悪くなるというところまではいっていない。地場企業は引き続き採用が活発である。
	▲	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・今月は求人数の前年比が低下傾向にある。
	▲	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・規模は小さいが、事業廃止や規模縮小による離職者が散見される。
	×	*	*	*